

開会挨拶

今井 千和世

(京都高大連携研究協議会 運営委員長／平安女学院中学校高等学校 校長)

下 佳代 氏

大学院教育学研究科 教授)



今井: 皆様、おはようございます。急に寒くなりまして、ここ数日の気温は、1月の一番寒い時期と同じだと言われているようです。お体をご自愛ください。

さて、ただいまご紹介を頂きました、平安女学院中学校高等学校の今井でございます。第23回高大連携教育フォーラムの開催に当たり、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

本フォーラムは毎年、高等学校、大学間の接続教育における国内動向の情報共有および京都における取り組みについて、情報発信および事例研究を目的に開催しております。今回で23回目を迎えます。主催者であります京都高大連携研究協議会は、産官学という京都ならではの面と面の連携による人材育成を目指して、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学校高等学校連合会、京都商工会議所、大学コンソーシアム京都が連携をして2003年5月に発足いたしました。本協議会が今日という日を迎えられるのも、ひとえに本日ご参加いただきました皆様をはじめ、本協議会を構成

する関係各位の並々ならぬご理解とご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、本日のフォーラムは「探究的な学びが高大にもたらすもの～高大連携の『モヤモヤ』に迫る～」をテーマに開催いたします。現在、探究的な学びが各高等学校で実践・展開される中で、理想と現実のはざままで高校と大学の双方が抱えるモヤモヤを解きほぐし、参加者の皆様と共通理解を深めていきたいと考えております。探究的な学びがもたらす可能性、そして課題について多角的な視点から議論を深め、高校と大学が共に進むべき方向を見出していける機会となりますことを願い、そうなることが幸いかと思っております。

最後になりますが、ご多用にも関わらず、朝早くから本フォーラムへご参加いただきました皆様、また登壇をご快諾いただいた先生方に深く感謝を申し上げますと共に、皆様のますますのご健勝と今後のご活躍を念願いたしまして、開会のご挨拶といたします。どうぞ本日1日、よろしく願い申し上げます。